



第39号

2014年2月10日発行(平成26年)

佐渡 市議会だより

■発行:佐渡市議会

■責任者:祝 優雄

◆編集:議会報編集特別委員会

●〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地

●☎(0259) 57-8133

●HP <http://www.city.sado.niigata.jp/>



佐渡市無形民俗文化財 ドウ押し (月布施集落)



12月定例会

定例会の主な審議事項	2	議会の要望・意見への対応状況	14
一般質問 ココが聞きたい	4	議案等の表決結果	15
決算審査特別委員会審査報告	12	議会のうごき・行政視察来市状況	16
新市建設計画等特別委員会が中間報告	13	編集後記	

減額 (予算総額 557億5,241万4,000円)

② 羽茂B&G海洋センター、羽茂ゲートボール場及び小木B & G海洋センターに係る指定管理者の指定(議案第151号)について否決しました



議案第151号は、羽茂B & G海洋センター、羽茂ゲートボール場及び小木B & G海洋センターについて、その指定管理者として、一般財団法人佐渡市スポーツ振興財団を指定することについて議会の議決を求める内容でしたが、賛成少数で否決されました。

③ 平成26年度から新設する「戦略官」に対する報酬の額を認めました

観光及び広報に関する諸課題の解決を図るため、それらの専門的知識を有する外部人材を非常勤の特別職の職員として任用する「戦略官」に対する報酬の額(月額5万円)を認めました。

なお、総務文教常任委員会が、次のとおり意見を付けました。

意見

戦略官の任用にあたっては、費用対効果を求める。



④ 現在閉館中の佐渡博物館を4月から市立博物館として再開することについて認めました

財団法人佐渡博物館の解散に伴い平成25年11月末日から閉館している佐渡博物館について、平成26年4月1日から改めて市立博物館として開館することなどを認めました。

行政の
今を

見る

常任委員会
島内現地調査

産業建設

更に3年間、指定管理者による運営が継続となる佐渡海洋深層水分水施設、赤泊漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜及び赤泊温泉保養センターあかどまり城が浜温泉」の状況を調査しました。



佐渡海洋深層水分水施設

平成25年12月6日～25日開催

第5回(12月)定例会

一般会計予算から2億1,354万8,000円を

◆定例会の主な審議事項

1 公の施設に係る指定管理者の指定に関する8議案について可決しました

公の施設に係る指定管理者を次のとおり指定し、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの間、管理運営を行わせることについて認めました。

なお、各常任委員会が付けた意見は、次のとおりです。

施設名(議案番号)	指定管理者	所管委員会が付した意見
心身障がい者福祉センター(議案第143号)	特定非営利活動法人佐渡・島福祉サポート21	なし
精神障がい者福祉センター(議案第144号)	社会福祉法人とき福祉会	なし
さわたコミュニティセンタービューさわた、佐和田大佐渡交流活性化センター(議案第145号)	株式会社共立メンテナンス	指定管理期間終了後における市財政負担の軽減を考慮しつつ、現状の雇用の確保にも配慮し、サービス向上による利用者の利便性向上を図るよう施設のあり方及び運営方法について、さらに検討されたい。
佐渡海洋深層水分水施設(議案第146号)	新潟県佐渡海洋深層水株式会社	今後、海洋深層水利用者の掘り起こし、事業収入の売上げ増加目標を立てて取り組む必要があると思料する。本委員会で前回指摘したことが履行されていない。さらなる指定管理料の減額に向けて、経営努力を行うよう管理、指導していくこと。
赤泊農林漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜、赤泊温泉保養センターあかどまり城が浜温泉(議案第147号)	一般財団法人赤泊振興公社	南部地区に宿泊施設が少ない現状から、経営努力することにより指定管理料なしで経営ができる施設と思料する。安定的な経営を行うため、引き続き経営努力を行うよう管理、指導していくこと。
勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場(議案第148号)	有限会社麻布組	委員会審査において、両津テニスコート及び両津農村広場については、使用実績が年間数十時間程度に過ぎないことを確認した。よって、使用実態に応じた管理運営方法について検討されたい。
両津総合体育館(議案第149号)	一般財団法人佐渡市スポーツ振興財団	なし
佐渡スポーツハウス、佐渡市陸上競技場及び真野運動広場(議案第150号)	一般財団法人佐渡市スポーツ振興財団	なし

12月定例会においては、15人の議員が一般質問を行い、市政について質しました。本コーナーでは、その要旨を、議員の寄稿により掲載しています。

一般質問

ココが聞きたい!!

- ◆大森 幸平 議員……………4
- ◆市長は職員とコミュニケーションをはかれ
- ◆笠井 正信 議員……………5
- ◆新造船「ときわ丸」就航について問う
- ◆駒形 信雄 議員……………5
- ◆減反廃止に伴い、今後の佐渡市の農業対策について問う
- ◆坂下 善英 議員……………6
- ◆補助金等のチェック体制と観光振興について
- ◆加賀 博昭 議員……………6
- ◆泉田知事の命令で坂井局長・加賀会談が実現した
- ◆金光 英晴 議員……………7
- ◆農政改革と佐渡農業の影響について
- ◆佐藤 孝 議員……………7
- ◆小本港開港400年 全島ぐるみの祭典に
- ◆金田 淳一 議員……………8
- ◆「佐渡市将来ビジョン」変更について問う
- ◆村川 四郎 議員……………8
- ◆認知症カフェは地域のより所としても必要
- ◆中村 良夫 議員……………9
- ◆お金の心配なく、こそって就学援助は申請を
- ◆大澤 祐治郎 議員……………9
- ◆庁舎建設の是非を問う
- ◆渡辺 慎一 議員……………10
- ◆地元の理解を得ないで行政改革はうまく行くのか
- ◆荒井 眞理 議員……………10
- ◆子どもたちに伝えられる公金の使い方を
- ◆中川 直美 議員……………11
- ◆「へし」地域の課題を解決する本庁舎建設や将来ビジョンに
- ◆近藤 和義 議員……………11
- ◆大口滞納者に対する補助金交付と給水の停止

一般質問

市長は職員と

「コミュニケーションをはかれ

大森 幸平 議員



【質問】 農地・水保全管理支払金（1億6931万5000円）、中山間地域直接支払金（約8億7200万円）、環境保全型農業直接支払金（約2900万円）、水田利活用の直接支払金（約1億5000万円）、米の直接支払い金（約7億1000万円）について、減反がなくなると廃止されるのはどれか。

【農林水産課長】 来年度から廃止されるのは、米価の価格変動補填交付金である。2018年度に廃止されるのは、26年から1万5000円を7500円に半減される米の直接支払金である。それ以外は基本的には継続される。

【質問】 国の介護保険の方針は在宅介護である。佐渡の労働環境を考えると、夫婦共稼ぎでないと生活維持することができない実態にある。在宅で親等の介護を行う

えぼどちらかが仕事を止めなければならなくなる場合もある。2013年9月末までの社会保障審議会・介護保険部会での議論を通して、今後の介護保険制度の見直しに向けた論点がほぼ出そろったと聞くと、次の4点について尋ねる。

- (1) 要支援者向けサービスを介護保険制度の給付対象から外し市町村事業に移行する
- (2) 特別養護老人ホームの入居条件を要介護度3以上とする
- (3) 1号保険料の低所得者向け軽減措置を強化
- (4) 一定所得以上の自己負担を2割に引き上げる

【市長】 (1)については、訪問介護とデイサービスの移行することが検討されているようである。(2)については、要介護1、2であっても、やむを得ない事情の場合は入所できるように検討

されているようである。(3)については、その推移をじっくり見ていかなければならないと考えている。

【質問】 今年度当初予算は523億円で、合併以来最大規模だ。職員数は約400人減少し、職員にかかる負担は年々大きくなっている。人件費は削減し仕事量は増大する。職員のモチベーションは下がるばかりである。「やってみせ、させてみせ、褒めてやらねば人は動かぬ」このことを考える職員に対応すべきだ。

【市長】 職員モチベーションの問題は管理職のリーダーシップ次第である。そのもとに全職員が今何をすべきか考えて仕事をする。「やってみて、させてみて、公務員として成果があった場合は褒めてやる」これは当然のことである。今後もちの姿勢で対応していく。